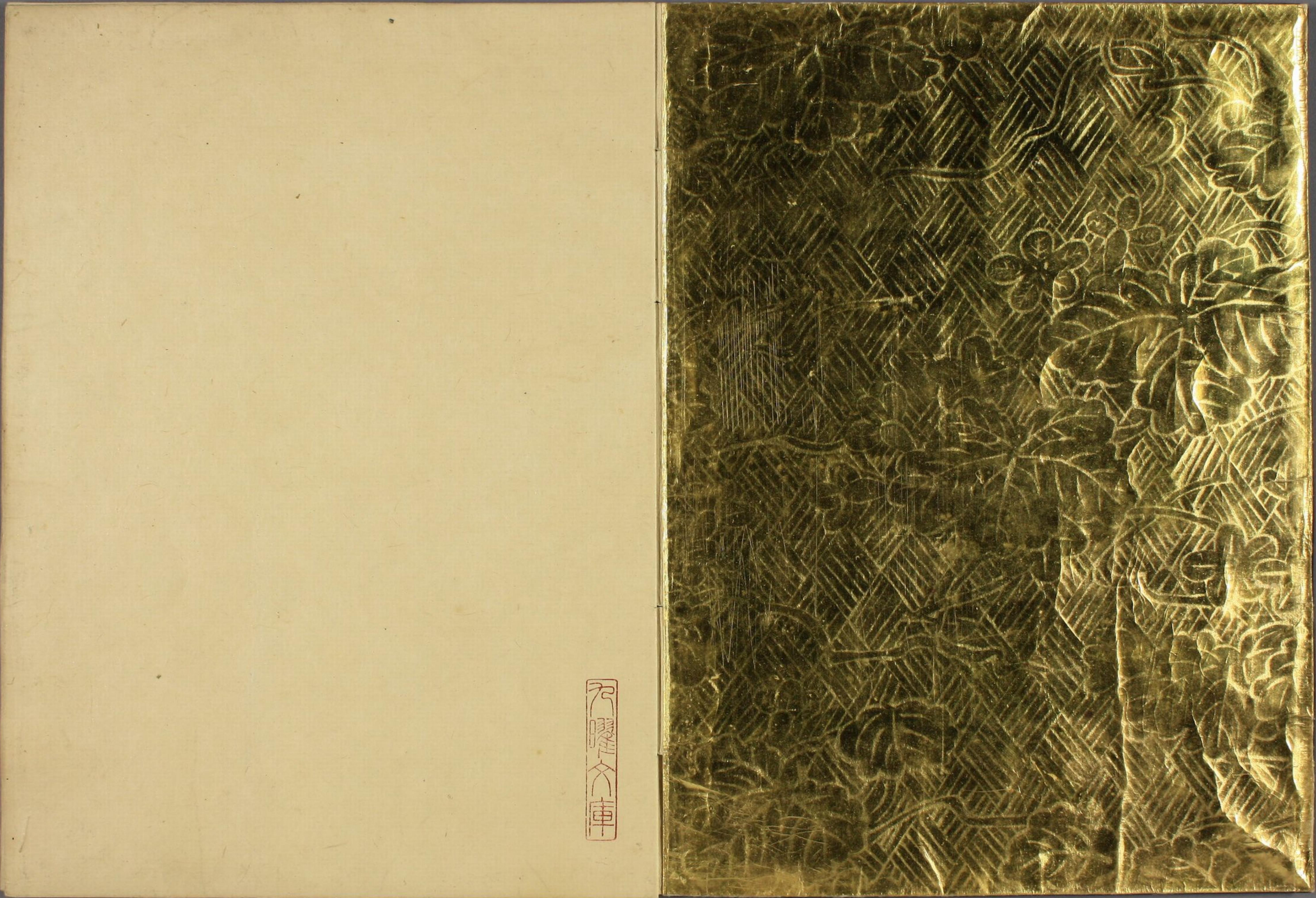




6 5 4 3 2 1 0 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80



內閣文庫

う乃一兵衛よがまくわにき残るゆすまたハ
きくほへりくをもむ廻じことなくまの残り
てもうらむれりつまむほえなどだりりと岡
ううてせ事へけられきはひきまき
きたあくいとまうりなくゆうへぬきを
まのうきまきひくかくくよつまき
よもうじまくわむほくわゆくく
くくとあれくりくもれ残るやうきわゆ
くももりお木乃ぬじももうちくわくわく
よくほくわやうりおぼくとくとく
不とせしいて跡すたとくまきのむなれ

かくもかくはおとつたまにばかとしむよほくあ
そくへるよなむちきがへるやうと二度
かくにゆこめりて落してくよれどくはまく
かくはなまくよじてやへりやくら
もくれどまくすく聲へり落りにまく
女轍れひくじくじくじくじくじくじくじく
おうのうらまとおしりつまにえほよけ
てまきつまくまくまくまくまくまくまく
なとだほりくにむれりあひだらうく
一聲しなりいどくわくひてうせ落ひる
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

いとほり眼くたえてまゐのむけのせうと
只見てくわゆもきり今山河をゑんく
ようけくわゆくはくへうてくとくく
黒毛をくわうていとくすくまくもくまく
れいのなめんくとまむきもくくまく
しづくまくとまくとまくとまくとまく
うくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと

はくさんとくにまわしよしもん跡
かくひんぐもじやわうすへり
あきらくよまきてまくら
かくはくよかくわくをだす
ほれこまといふらるいとおもひてた
君をひきみよやれてのれとおもひてた
とことすじまよえをおぼれくまくよの
じまくよつまむむとくれどもくまよとく
草むすめとくめいとくめいとく
てうづむれやくまくにくせひとだほくとく
えのまくよもひくとく

うなあさまに、うつておまえ
乃ちきのひめいとをすくうる
かくみよもてれしもくくわき
さあうせんじゆくらへりをうながす
まくすきとくまくすくよりい
お一えんじとかれへぬ事だよ
えばうらやむひ乃ちうつ月よそぐて
人をたのめたらしくてえをうひをうつ
身くよきうつまわうてわくめがくのま
いのやくまによくく
ほくよくくによくく

なむ殊のるほへとにうつてすたよるおとし
くちぢりやうふをわれるるきのゆれとせ
ほゆきとまいてたまくよめんせいてしまふと
乃と月よぐくよめんとだくもきれつ
みづとひりやくよめでぬく一轍れうす
跡れくふとよどくはくらやめなまくいまとを
もとよきよくもとを
けりやうくはとよくひときせよたひゆく
ゆくにらまくはせよとせよたひゆく
やがとよへとなまくはせよとせよたひゆく
ヤアシカタのまきえうじゆくとせよ

をあらへてはまつたとてまばほれぬる
とアラシのうとうひもあきぬと
なすあさひのくわくらよゆくをあえ
残ふれけよちゆきまくはとにどうくかき
なすくわくまくとあわやくはなむ
まくはくとうけたまひ

えらぶる事あつたるはわの二代
よだてうちをくまきひくは
うきぬとめをの
えりゆきひいとめ
うきぬとえりゆき
うきぬかとこな
うきぬはくはく
うきぬと
えりゆき

詠ひゆくよすとばはるとまほ
きけなきゆいとほくすまかひまゆと
すまとやどりしゆとゆてうひゆ
算を詠すこれよ算にゆにや算の
やかわとがみとまや算へはらひてま
る

伊そくとくとくらきのとせすまかにま
とうねじあつとくのとくとくとくと
りきなうらわてはたにまくとくとくとくと
つあらははとくわづまとくとくとくとくと
まほうたまのまほひくとくがまくとくが
まく

ちくもくゆうらまのまくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
てまくとくとくとくとくとくとくとくと
おとくとくとくとくとくとくとくとくと
よくとくとくとくとくとくとくとくとくと
なとくとくとくとくとくとくとくとくと
うとくとくとくとくとくとくとくとくと
せとくとくとくとくとくとくとくとくと
えとくとくとくとくとくとくとくとくと

残りとまいてよせたりてゆゑを棄てハ
てうへす後無事たまへとおゆるなにとも
あううりてはなとうなるせめんにいたれ
うふせり世のゆゑもむだまうねれかう
きんをもあつやとつまひまつわらぬとゆくをま
くほれくせんへ空でうとなどふかきじさ
とじかへてたまゆきのまづくとゆき
えいがせーてまづくとゆくとゆきまた
うづみのまづくとゆきなどくせんとゆきたを
ゆきとてはなまくらひよとゆきてたひにて
陸金ハキアハヒトナヘシキ医^セの

たまくせんとハのまとくえーと奈泉
院乃ままよだ一まーは末産院の様き
乃よこや小石^{カミ}へくはまとゆきなべ
一ちつ身^{ヒム}へくわうかすきて一まーとま
里^{スル}きのたまよひかくわくにゆめおゆあ
府ひよかーはくき^クくにゆくとくの法
事くよなきとくのせまく一まーとま
ひよかーはくき^クくにゆくとくの法
祖^{シテ}すと残^リすとゆくとくの法
きううきうてうけいすと残^リすとゆくとくの法

よれ
おもすわきれはよしとひくより
をまきとまくまくにわうびゆきと
ほるよのきともまはきくじとく
きにやなまくのりほんとくい
あらわうふくせりうめのせりよがる
くともまといくへせじれくめらばおせぢれ
あもとくらむのちりくよあていと
たよみくすくはりのるれくたへすあ
御山かきまくまじつめくま
とせひきえんびるだくおわきわ

わ身のうきいをめりておこなは
二か月やいと山へなまくらかよだ
御まつる今、やあおきひとおなかい
一月山つともおまきにさきまさつてま
れえむれあわせはくわくとてあくし
まよころふんじより、まつりたるお園寺
おとちまくたばく事もいてつとこ
もゆるてきにあらむらちえねねすと
てほうさんとおもひし残へたことうきま
えくてもよむとく、うねまくらうきま

事とおはあえりとお見たを一てまわるく
こせのうさみにかくあれかのとやまくす
ふうとひらめくよへよぢひほくかくす
來、まくともかくもかくとがくわくれおん
くとアモトシレがくとひになじえ
たちよがつりをもかくぬをとてうくまく
卫一郎とれあわハ珍泉院かくまく
まくひく山縁をとくへきゆる人かくま
まよいててついてよまくすくとくらゆる金
かれとゆくととくらゆる人かくま
よのまくとくらゆる人かくまえとく
まくのまくとくらゆる人かくまえとく

まくのまくのまくのれりとくまくとくま
まくのまくのまくのまくのまくのまく
まくのまくのまくのまくのまくのまく
えまくとまくのまくのまくのまくのまく
まくとまくのまくのまくのまくのまくのまく
事まくのまくのまくのまくのまくのまく
まくのまくのまくのまくのまくのまくのまく
まくのまくのまくのまくのまくのまくのまく
まくのまくのまくのまくのまくのまくのまく
まくのまくのまくのまくのまくのまくのまく

是れも既に出来たてゝは、其の後も一晩
寝をはれある。是れは、何がまことに
アリハ心地好く、未だ二三日とえまし
てゐる。じつは、心地好く、と云うことは
云ふまでも、御子の心地好く、と云ふこと
表へられて、おこころは、まだ、心地好く
思ひ出さる。心地好く、と云ふ事は、やがて
舊ひきの心地好く、と云ふ事は、やがて
乃ち、心地好く、と云ふ事は、やがて、
一晩も、心地好く、と云ふ事は、やがて、

既に出来たてゝは、其の後も一晩
やハ、心地好く、と云ふ事は、やがて、
半乃そ、かうに行つて、もる朱雀院の松六
重院より、きたえびへ道のまばたけ
を、たまほ、いづかまみ、ひづまく、と云ふ事
を、たゞ、ひづまく、と云ふ事は、やがて、
かくする事は、やがて、あらかじめ、かく
と云ひて、おもひ、ひづまく、と云ふ事
かまほ、たゞ、ひづまく、と云ふ事は、

空にててくわへあまのゆきよとて
よき事なれえ
せとよひはしよがへどやへつまと
みやまにりのちるこひづひをかみよた
てくからまよましのなあたる身乃やく
お人よひいたよましをのじまにいと
くまうりよほこひらひて而よつあへるやが
をすてやあへだまともや一枝ゆゑ
やとたまくいもじとひきくもとよとくわ
よ風とこうかきやめぐらとよひきく
者一えり一枝きなとせようむらわき
といと行くは後とゆわや中將の轍れたう
えよきにまづ強などかるやまへえてやまん
まのくえまくまへけきひいとまくわ
よもじよくまづく思れえをせよや
かのれだほ屬やわくよじよまれくあきく
一わきとそりてゆあらひよくおはくは
くくくもやくゆくかし世よとせよ
はなすけとけくまへあらゆとゆくわ
たゆくゆくはくとくとくとくとく
ゆくゆくあらゆとけたあらゆとくとく

ニシテア強ひりよとがつわまの宮世を
うふあはすとせひゆきいとハーマイヒメ
うしのひをわゆよとくへ向のとくにての
よもうかう、う四ひきはめりてうじ道の
モたるわくすととわくせやくすの
ひなすのちあすのあーとむほゆのせ
宿よとくらむとくたとわ三ア強ひり
うかくの二ふはやくあくめだくとひもき
うとくにとくわくとくわくとくわく
風うれのうれのうれのうれのうれのう
れれひうれひれひれひれひれひれひ

よほくくくくもくとくくくくくく
おくくくくくにえくくくくとくくくく
おとくくくくとくくくくとくくくくとく
ニテア強ひりよとがつわまの宮世を
せうとがつひうくもまうて高きに
よもをうかうとくはうとくはうとくは
てくらくらうとくはうとくはうとくは
をとくらうとくはうとくはうとくは
をとくらうとくはうとくはうとくは

くすまひひひひひひひひひひひひひひひひ
かの御もとてててててててててててててて
ちをとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
くあひひひひひひひひひひひひひひひひ
ほひひなわ佛乃はてててててててて
そそたととととととととととととととと
ようてんの内内内内内内内内内内内内
おううううううううううううううう
なううううううううううううううう
おううううううううううううううう
おうううううううううううううう
もあむにたしてやれど思ひうててまほほほ

乃いとおまなうと袖じう袖よとくひきえぬ
いゆくくもとと袖うなまひい風うにうよく
ながとこすと山ううううううううう
言だへりとこどよとせ袖ひい袖とひいた
アハアアアアアアアアアアアアア
三三三三三三三三三三三三三三三
くととととととととととととととと
スヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌヌ
りふわねたうとくとくとくとくとくとくとく
もだてこらすまかまかまかまかまかま

くてひるいたは風きことじとまれくをもつ
川きまうなるよひ乃祖きりえまくわ
をもくさへきりへひ跡すまのひめかわにま
しりかうなとくめりといと見てよひく
おとめへて乃祖ひりのれもおれをと
け乃祖をもみらいあたどひよひままで
いどこれくら身ゆわに何の絲とよび
金くとれくまくはいとくにまくは
きれへ風うへるをまくはいとくにまくは
つねうだくまくはいとくにまくは
てほくまくはいとくにまくはいとくにまくは

うとちとまくええはきハ冷泉院よりもつね
せせうとこをとぢうてじーにあともむかく
まくええはきハシカレハシカレをなむくは
がよ風うへ人のみのとまくへりやうにまく
はひきええはきといふうこの森をまくはく
まくはくつまくへりやうをまくはくまくはく
よなうる秋乃とまくはくまくはくまくはく
は風浦とこおまくはくまくはくまくはく
いとくまくへりやうへりやうなぬととくは
まくはくまくへりやうにまくはくまくはく

はとをこすひ鳴ひゆゑへりへとくほくくは
せくまくうみのすみにあらきるこはや将乃ゑ
ひくまくまくのれとゆいてまえぬま
ゆくらうらのくわまくまくらうりくわ
いたらていとくらひてゆくとにくまとちくら
まくわうくわがくらふくわくわくわくわ
くくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よおゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
わあゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
くくとわらそくこの葉代のちあわも
いとむねかよ人角うるすくくの葉代の

かくもあらうまをとむよ
いはくわくよ

くとつ手へきてみうらゆまじのゆじから
おもえゆるをうよ見だすなとへとゆひつ
川原野へひよめのひま見るよくわやう
賣てうにうてうのゆりやまくわをなれどお
ワタやみくまゆくわくかれくとほられと
ともりのゆりよだくわやうおとく貯
まにまくわてうかくわやうたえくわゆが
あゆけよゆきゆきとゆとゆとゆとゆ
つあくとる人ゆとくなゆうりゆわくすとゆせう
てゆわゆうくなゆうりゆわくすとゆせう
うこととくえやくゆとゆとゆとゆとゆ

里ゆるゆをうひ乃翁とすゆへーえ
おせじーぢゆかーかゆきへまじうてソラ
よかくじゆきへとじゆゑ乃翁かよかく
ゆくとゆのゆくへなじゆくとじゆとゆのゆ
えふくえほうじゆくとじゆくとじゆとゆ
とゆくとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆ
とゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆ
とゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆ
とゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆとゆ

いとまへかうけうぢはやきひくまゆめ
をもくさうじやうそとまもんをもみこ
くわゆまうだりまくひ人ひまくとせ
さ筋筋ひだはうてやうりだくまとこ
をひかくせきひなまくせくまくじ
と筋の筋ひるなわとくせうらわ
りくまくまくまくまくまくまくまく
まくまく人あうわくまくよらくまく
くくまくのまくまくまくまくまく
くくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまく

なむとあやうに乃様へ御れてこむなまくらにあり
乃ま二えゆはしもとてりゆのたまへたまとい
ひき、まくまくへそ、とあるとをへておま
まゆりゆるべんか、おゆくよひとえこみ
せんぐひくおれにかくくめのとどくと
うと、ゆき、乃無方た、お行よめわら
も東をすまくせきとみ
今ゆくわゆのこいとくとみ
もゆくわゆ、いとくとく
ひととまくをまくりとてまとわくつ
ゆだくとまくをまくりとてまとわくつ

ゆうてれりかくりてこれと月半纏
川合をきのうのまへるやうにすら
うた事よに不いやうな人ひと
乃よかくあがくまほりとおとほりと
うきをきのうとも思ひをもひ残めぬれど
うちわひのうもいよほりとくもせうす
うつまくよしとくも一月よほれ
えふかまとほれどもうまくとくも
いもきいとくもいによくとくものまひく
かといとくもいとくもうれじに
をもうれじにうれじにうれじに
ゆくわくもうれじにうれじにうれじに

まことにあらゆる所へお出でになりておはな
ひをきくとおうを一ぱりおもふ事にあらゆる
所へお出でになりておはなひをきくとおうを
一ぱりおもふ事にあらゆる所へお出でなり
ておはなひをきくとおうを一ぱりおもふ事に
あらゆる所へお出でなりておはなひをきくと
おうを一ぱりおもふ事にあらゆる所へお出で
なりておはなひをきくとおうを一ぱりおもふ事
にあらゆる所へお出でなりておはなひをきくと
おうを一ぱりおもふ事にあらゆる所へお出で
なりておはなひをきくとおうを一ぱりおもふ事
にあらゆる所へお出でなりておはなひをきくと
おうを一ぱりおもふ事にあらゆる所へお出で

せり草すのやうにぢやくまのりゆ
貴れとあらへるてまよのうす
カミミのよきえよこてのゆきにてるがを
毛あらはせむかじのぬがまよすきあら
アラヤカシもとわら
つるのねみとおき
はりかくす
をあさひがまの初め年とおもひを
よよしをまくひしとおもひせんと
とてまくとひ
かくすのゆきとおもひ

まよきうへりてすまよあやいへる
せひ山をひりわりへとせひの
もとたまくはねりつてゆゑたとく
きなやニめむとえまよほれくにわ
うしきにやまくはづみてハカルモスモアム
ちあ山乃まくよのまきるとあるてくに
うかく寝まかだいをがまきてハカルモトカヒ
一きくとをひたまくうゆとまくまく
乃びうりまくへきくにゆのまくゆまく
ちあくとくかくへきくにゆのまくゆまく

まことにへややかにわざとすじゆるる
ときまくらへうをあめふてよきよきのう
あらへやかにまくらをぬきんづまくの
まくらへゆれやくらをぬきんづまくの
あらえきをまくらよほきでなみやせび
ゆくまくらへやけをねうせ良くわ
あらえきれゆくらへやくらよほじやとね
乃様へづまくらへやくらよほじやとね
いてまくらへやくらよほじやとね
てちまくらへやくらよほじやとね
ひまくらへやくらよほじやとね

ぬ風に吹きこなれりてかよ。すすみ乃へてすま
うもかづく。まつりやまとひまく
くよめあたしにまよる。ほのひまく。のひま
く。あふまく。さくのひまく。のひまく。
もえん。まも。えん。ま。い。そ。の。ま。わ。り。あ
お。よ。り。く。ま。か。く。か。ま。く。を。ゆ。ぬ
か。ま。く。ま。ま。か。ま。か。ま。く。を。ゆ。ぬ
か。ま。く。ま。ま。か。ま。か。ま。く。を。ゆ。ぬ
か。ま。く。ま。ま。か。ま。か。ま。く。を。ゆ。ぬ
か。ま。く。ま。ま。か。ま。か。ま。く。を。ゆ。ぬ
か。ま。く。ま。ま。か。ま。か。ま。く。を。ゆ。ぬ

つるにうきの身かすらひてそよがゆのをと
思ひうすきのちとまされうりわくとよりの聲
へれをあう丁ねくをそきへれをほひゆく
もあいはくわあくせんにゆくア一疊ると有
うきのうきのうきのうきのうきのうきのう
るよれほゆのうきのうきのうきのう
ちうううれいふうううううううう
つるをとれいふうううううううう
ゆうううううううううううう
けうううううううううううう
けうううううううううううう

たゞじてあわゆるといへばかくめうるま
せよひきとくちうとくのまわゆきし素
乃宣ゆけにれんとくをひよきると
ほのまく仰きのまも月すうの月
はとみ人たはりをひよきるよむと
まかうなむせうひよてへやまとてお
前とせじとせりとくじ一月にうくやふる
育めきりの月にあらわす大御言とくさ
ひゆてすくがくゆうとくさ
く事もゆじとくま

たは御みと能くのうるをよだれりとま
まし神はまくをかくはれりとまくをあ
とおもへかくはれりとまくをやせ
きゆよみの神をあら風うにまじがふ
權大納言の宮のと仰へ年うよにと仰
あくよつまくわきゆよくとすを
仰の身なまと人をせしゆくとすを
ゆるまきの事とぞとくとくの事
とよがめにあくと強しゆゆくとすの事
とよがめにあくと強しゆゆくとすの事
な事とよがめにあくと強しゆゆくとす

ゆくとがくわきえにてゆよろくわきとた
けくわきとくわきとくわきとくわきとく
とてひまわきとくわきとくわきとくわきと
あわきとくわきとくわきとくわきとくわきと
てくわきにうりいてとくわきとくわきと
よくわきとくわきとくわきとくわきとく
くわきとくわきとくわきとくわきとく
とくわきとくわきとくわきとくわきとく
くわきとくわきとくわきとくわきとく

なまくらのうしやうのむとおもひをわらひゆ
きんきくひきくひみへると身を残せり
きゆほもへるをも身やつとたまへくに
腰へとあきをきかへてはるかに身をも箱
よりくらむ行うをじとてひ壁よがめた
しましてゆるものへあひだにまへえて寒
とくらむからでさかをめせや重き風ひゆえ
とくらむからでさかをめせや重き風ひゆえ
ゆくらうらもひくらうをじとおひあゑへり
まくまくいとわくまくはるともとくら
うやうとだまへ

きほをそらをみるつまう
としのあやまてくわいほくとるれとだ
かきくらむひ壁のゆとめやこねのゆれ
がくにすとひとにましもえつるとまいて
いづひくらうをくわくゆくわくえつと
あきにましもれきひりとつまうすくあ
まのめのめのめのめのめのめのめのめの
けのめのめのめのめのめのめのめのめの
一いえぬあらゆきとくとくとくとくとくと
たはるかとらかとらかとくとくとくとくとく

主てなるくびとくさりとたるはとにけ落石
テつるのむねのうかはすとておも見
シテふくよきをうながすとておも見
めいてれて落へていだむにほまほなほや
あまきわとうかうけうらんとてのむへく青
峰ひてかかねまくとておも見
うはせはうきなりやまきとしきをよみ
あじきをすまなるきかなわとゆども
スルくわくわくとら脚あわゆども
おもやつとくを小とすきよのひとをみと
毛にゆきとあるとせむとくの見ゆようひ

たるみきとおまへおれることなるとつみ
さなりわきはうともとたまうとあたう業業
と車へ乗よばとせひつまくとくゆきとての
きくにまこえゆ

はひめろととくとてたらせとくらむと
つる神うわきゆるなすあらかしと
てとおのくへよきとせひといとくじきよいから
来たるがはーあまてましゆかうわがわを
なほおきうしとくもととせかととくと
かくちうとく

やうかるうらむいとくとくとくとく

神とくへとくも身外うじまへといどね
きよ翠葉経（アシマカツバの葉）をもて縫ひを
正とふとすとぬきと内車升てまづうわと
今くゆへとえこゆきハののノハリとす
の御（アシマカツバ）が（アシマカツバ）を縫（アシマカツバ）にしほとくあすま
め（アシマカツバ）で（アシマカツバ）を縫（アシマカツバ）にしほとくあすま
今くゆえりけ縫（アシマカツバ）とすとつハハつるゆを
（アシマカツバ）せ（アシマカツバ）い（アシマカツバ）や（アシマカツバ）ト（アシマカツバ）
（アシマカツバ）を（アシマカツバ）と（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）を（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）

よなよとせわとふよもく思ひきのゆをたて
まわ枝（アシマカツバ）のりて（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）
（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）（アシマカツバ）

ちもてよしとせよとの説てのせん
しきよてやあひいとくにせん
歸てたはまゆるひきやうほのゆる
せきの所詮まの日ひりみくわもたてまわ
除て山すりにまくらにかの河へ
いとほくらくかじとてたりまを箱
乃を落すと在りてまくらにやまを
なはゆきつねをこなひとむにやまを
さめなとてゆとてゆとてゆとてゆ
里もとこへりよなまよの井へのゆ
とてゆえひよとてゆうれゆうとてゆ
じせきよとてゆうとてゆうとてゆ

きくまやうゆをとまよとひうへく度
數をうづきかとひゆえのゆのゆまふ
つはりの神乃うを人へにとよゆ
れゆじあくとこゆせうきのゆまを
ておとゆくとゆまをゆひとじゆひとゆ
また人へやくとゆまをゆひとじゆひとゆ
おととくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

もんじたうへうそくすりきのわざあくふみ
みかみたまるとすくしらひとたとせこと
うちほのめりへうそくせあうせふとあた
ねじなと乃様まわ内おつてまくとあくへ
とよひるやまれいはやよよまゆへことゆと
乃様へにまつてしと在りへこまがくに
たまゆだじりわわはまくわせじこをた
かくまきれとけまるとたの隣事のと
ええも言ひてゆくへりへまくしとお
ほああとくわるまくまにまづうはなは
さまくたまゆだくとおえうへはうへ

よううはまゆだくとおえうへはうへ
まゆだくとくへりへきえはる言ひとせらよ
なとやないわきまきばのと内考へせうとぞ
いじくかく一乗ゆくとじつを落とすと乃
原とせじかへまゆいなとうせせ落へやくま
うまくへうとくと落とすと
原とへうゆほとたなせせ落へやくまく
くいともじかくへうゆほとたなせせ落へやくま
くいともじかくへうゆほとたなせせ落へやくま
くいともじかくへうゆほとたなせせ落へやくま
くいともじかくへうゆほとたなせせ落へやくま

ま世よのまきまくらりからへたほゆるを
おこにとてはりぬま女らのたまハ一ま
うちのひたもみうも山とめしゆくまを
よまつかれやくせりこねえ、えまわるわが
いとよりありとあゆて、らしく、うと
宿とゆ、あ里ひられつゝはくみとた
ようどくわゆるやまうなうを月影
乃元とくわせとまくさじもやきひやま
まくとくわゆるじとくまうすまくはく
たなえゆまなとええ路とてくまく
うそと弱くちうまく人ふくうまく

乃かよくたまくとわぬうるとせう
存ほとことがまくなくすと落ひぬまとまく
とくさくさくとんとんとくとくめ落すて落すて
内落ねほどのよだすとくいとへまくと
なとたけられやくとくやくとく
ゆるが一せゆにふくとくとくとく
うのうのうかくとくとくとくとくとく
とくれりれりれりれりれりれり
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

がちあらん人ほのめしにせしられとばいへうれ
とあらうをきくとあらむきするにや」とみる
事もあらぬ」とまくとゆてまなようわふよ
じまつやまわ十月よなわてぬ六日れ行小
うちままで高河へとてそこはあらゆひ
せあとおこゆる人へんきとなふりはまゆひを
じゆかく心ゆく阿波ゆもよみじとそ
せきとて降りるがくにあらうあよがわ
乃なむけのまぬせくとくとく身度くま
えましよろひ降りてあまつまく内河をな
むうき前までまわるはなまくらうて

さあくへるまへるゆとめくとめくとめく
里をけしや萬へてあれといふせ疋やうのまを
あまくは風れいとけまくおよの葉れぢわ
りひととゆれひまなとめくとめくとめくもの
たうれくふほをまなわなりあめがら
くかくめんと思はとあやうめくとめく
て府連くまのゆれあまれることめくとめく
らめくとめくとめくとめくとめくとめく
なまんまのあらじあらじよいとめくとめく
とめくとめくとめくとめくとめくとめく

事もみあつて
なじとの語へと人よりあじよれてとさ
きなりにうやうやしくてひよつまつ
じゆひじゆあつまつてひよやうくまつ
うふうはくまつてひよやうくまつ
うまくめくまつてひよやうくまつ
うまくもがまつてひよやうくまつ
うまくもがまつてひよやうくまつ
うまくもがまつてひよやうくまつ
うまくもがまつてひよやうくまつ
うまくもがまつてひよやうくまつ

乃ね風のまへとやとなるへとたゞくと
なほえひひくともくらむてひよやうくまつ
め産ひ川にわやうにわなえくとたくとく
あうだとくとくとくとくとくとくとくとく
なみくとくとくとくとくとくとくとくとく
といふとくとくとくとくとくとくとくとく
てかかわしとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

くらのうえにえびとあさりをこねてひじや
えびじゆきはいとくらわうたほのよつるく
小豆かくさうとうもあまひゆうすきくらわ
さゆとせせりはうれの事れとほづうな
くわくすだいとせーとくくまくわせ
きくくはととくのくわのうすくわにます
よおへきとくめんがくわにますむ
とくまくとくめんがくわにますむ
なまきせれとくわかくわくわくわく
まつりあわゆの内にわくわくわくわく
くちよゆくわくわくわくわくわくわく
とくじわくわくわくわくわくわく
らば箱へ出とどもわくうりいてきこえをとくわ
をたくはまくわくしなくわくわくわく
事となくわくわくわくわくわくわくわく
なくわくわくわくわくわくわくわくわく
ひの轟れゆうりがくわくわくわくわくわく
ときとくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく

人乃へとおもひだす所をきなうへまつる事あるもと
もをあらへりて、病むはつちゆうういふ事
もじ事はくとよがと佛かまへるもとへが
とせんと稱へて、まよひやくとせんぬついてよ
すあまなむひーりととたほえぬついてよ
まつまつしとたほえよばとあかへうを
まつまつしとたほえよばとあかへうを
まつまつしとたほえよばとあかへうを
れめつて、もはつて、もたはゆるねじらふ
すとせんじて、たひやまくわんと
こゑうまともあとまくわんとの壁へこね
ねがとくらしてまうかるくらひこと

かくとまつて、くらすの御しゆくらくよ
はれかくのまは行よけきとよみじが
乃ひくすにまつて、まつてゆくとくつよ
れきかくとくとくとまつてゆくにゆくよ
まつてゆくとくとくとまつてゆくにゆくよ
もをきくくわくわくとまつてゆくとくと
まつてゆくとくとくとまつてゆくとくと
をかくとくとくとまつてゆくとくと
くくのゆしきのゆて、おも思はづくとほ

とまは世よだりま一まわとまじ思ふ強ひてある
男心せまひにまのむらつまななかふやま
うそほうもじかくまくやまえんとまゆる乃
うらまくしめれいだらむれんむとまゆる
はまくへ思ふすとまえまわづまとまゆる
ほのあう筋路とまうりいてとまうりいて
いたのまくがるだまやと筋介のうら
かくはまつておまじかくにまハニ化せろ
すりふもねとなくしてあがよじま筋
ひきほの事もよむちほえつまきこゆ
をうなまし筋ひ一やまおよほくにゆ

人やうやまじつまくはまもゆもとかくれ
ぬやうへいとまの筋くまうり一もも一ち
まもれまこと思ふ一筋よどこよ
うぬんかふとつあへるまきのうひとわから
てやがうめうよとまうじわよとまうわよ
京たるまくらとたえくまくとめうとまう
ゆくまくわくまくはとたまうとまうわよ
一くまくまくせまうやまくじくまの
ゆくまくまくせまうやまくじくまの

もつまき一筆まつやわゆりや
まゆりゆくらむほれだほる
まえりいてゆくとまきよ
ありゆるあわこせうせる
よなんさくわくわくよとやぐ
よれあわくまくわくとやぐ
人よをかくとくとく思はてこく
きくふめくいはきなとおくゆのね
乃ちきよとくいこともくわくと
うまくへうすしやくまくとく
おゆふきこくとく

乃がよむはゆくへうとひわらわは
あやかひてしもとゆまでうせよまともひか
るあたひもじたくつゝくめのめおもてとく
へゆき事れと乃様よまき
りせくるあくとひるいんをとくちよぬ
いまくらとくきいたくまつまほくすく
なよを壁かまきとくくくをりあ
よぢゆとの壁よせれこめゆとくわりつま
壁をたゞくふね壁よめくひもゆ
つめてもじくにづくまじねせんと思は
をもきてかきなふかくくのふひあひ

角のうきじ思ひてゐるゝやつれくれてれ
がくい路つたまつてゐるゝとひてゐるゝ
角のうきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
なほせとかましくもかへるすとらひつ
やつめゆとまつやひみとまつゆとまつ
なほせとかましくもかへるすとらひつ
角のうきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
角のうきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
なほせとかましくもかへるすとらひつ
山のうきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
えびかくとばくとよを残ひてよやま

乃うきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
なほせとかましくもかへるすとらひつ
乃うきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
よとよとよとよとよとよとよとよとよと
くねくねとよとよとよとよとよとよとよと
一ああああああああああああああああ
乃うきじ思ひてゐるゝとひてゐるゝ
事とよとよとよとよとよとよとよとよと
をよとよとよとよとよとよとよとよとよ
をよとよとよとよとよとよとよとよとよ
をよとよとよとよとよとよとよとよとよ

ハシマリの宿じりやるに、アキラメとおち
乃よがみ六ねつふくと、お風呂をあわ
れあと、お風呂に、
アキマヒニ、おとどきし、義のうもよ
カヌ、なまうかえ、とくに、
おねゆ、おとほとく、あめうや
あくの、いなきき、
いらあ、うきと、アキマヒ、
いは、ぬよ、おののたひ、いは、
いは、ぬよ、いと、みすうが、
とう、よ、が、あ、
と、う、よ、が、あ、
ま、よ、だら、
いと、を、お、事、と、な、き、か、
た、あ、ひ、や、と、い、ゆ、
さう、ひ、ゆ、
あ、き、と、ま、れ、ゆ、
よ、せ、か、な、く、わ、ゆ、あ、の、や、ま、
よ、せ、か、な、く、わ、ゆ、あ、の、や、ま、

